

2003年10月1日

# 青山学院大学ラグロス愛好会

## — 体育会連合所属申請書類 —

### 目次

1. 体育会申請についての趣意書 … (P1～2)
2. 体育会申請のお願い … (P3～7)  
顧問・ヘッド・コーチ・主将・副将・主務/副務・会計・初代主将・前年度主将・後援会
3. 名簿
  - 3-1 現役男子/女子名簿 … (P8～9)
  - 3-2 OB/OG 会名簿 … (P10～15)
  - 3-3 後援会名簿 … (P16)
  - 3-4 審判資格/コーチ資格取得者名簿 … (P17)
4. 日程・活動報告
  - 4-1 年間活動予定表 … (P18)
  - 4-2 年間活動予定表 (後援会関連) … (P19)
  - 4-3 戦績 (男子/女子) … (P20～35)
5. 会計
  - 5-1 現役男子/女子 2002 年度会計決算書 … (P36～37)
  - 5-2 OB/OG 会費 2003 年度報告 … (P38～39)
6. その他
  - 6-1 ラグロスの現状と概略 … (P40～42)
  - 6-2 JLA (日本ラグロス協会) について … (P43～49)
  - 6-3 ラグロスルール説明 … (P50～52)

青山学院大学体育会連合  
学生本部長 殿

2003年10月1日

## 1. 体育会申請についての趣意書

我々ラクロス愛好会は、下記の理由におきまして体育会申請を致しますので、ご審議のほど宜しくお願い致します。

今年で創部17年目となり、年々部員数も充実し、今年度につきましては選手男子44名・女子50名・マネージャー10名の計104名で、愛好会という形で活動を行っています。

### 活動目的…

我が部の主な活動は、年に一度の日本ラクロス協会主催関東学生ラクロスリーグ戦において優勝を目標に掲げると同時に、もう一つ重点をおいている事としてラクロスの発展・普及があります。たとえば、学生主体で運営している日本学生ラクロス連盟に多くの委員を輩出してきました。全大学の新人が集まる育成キャンプに毎年コーチとして派遣し、また海外普及のために中国遠征に参加した実績があります。

### 活動内容…

現在、卒業生がコーチとして主に土日指導し、平日は現役幹部主導で活動しています。練習は基本的に週5日行っており、練習メニュー・スケジュールは定期的にコーチを交えミーティングを行い決定しています。練習環境は多摩川河川敷グラウンドを主に使用し、雨で使用不可能な時は、駒沢オリンピック公園内トレーニング施設及び校内トレーニング施設で体力面の強化をしています。ミーティングに関しては、渋谷区スポーツセンターの会議室等を使用しています。

### 戦績…

試合戦績は、第1回全日本選手権(90年度)男女共に出場、第2回全日本選手権(91年度)では女子が出場し、男子は第1回優勝校となりました。また多くの日本代表選手も輩出し、男子は温湯達也(91年卒)、竹村耕(91年卒)、荒木克哉(91年卒)、高木陽之進(91年卒)、小川潤一(91年卒)、竹花達夫(92年卒)、浅原秀介(94年卒)、女子も数多くの選手が選出されました。94年卒男子浅原については、第1回全日本選手権MVP・94年アメリカワールドカップのカナダ戦においてマンオブザマッチに選ばれました。

現在は、関東学生ラクロスリーグにおいて、男子2部・女子1部に所属しており、男子は1部昇格・女子は学生ラクロスリーグ戦優勝を目標としています。

### まとめ…

以上の様に、活動を行っております。愛好会ではありますが、自分達の意識の中で大学の名誉をかけて常に他大学と対戦してきました。最近の学生リーグ戦上位校の殆どが体育会で占められており、その共通点としては練習環境、財政面において恵まれているということがあげられます。今後我が青山学院大学ラクロス愛好会が更に発展し、高いレベルで

安定した活動を行っていくためにも、歴史ある青山学院大学体育会連合に加盟する事は必要不可欠だと考えております。何卒ご検討のほど宜しくお願い致します。

青山学院大学ラグロス愛好会

2003年度主将 内藤 誠 (経営・4)

池村 亜希子 (法・4)

青山学院大学体育会連合  
学生本部長 殿

2003年10月1日

## 2. 体育会申請のお願い

私は長年にわたり活動を見守ってまいりました青山学院大学ラクロス愛好会を、体育会所属団体にふさわしい活動が期待できる、優秀な団体としてここに推薦いたします。

ラクロス愛好会は、男子が1987年、女子が1988年に創部、その後男子は1990年に第1回全日本ラクロス選手権に優勝、女子も創部以来10年間1部の座を守り続けるなど、輝かしい実績を残してまいりました。

現在は目標を高く掲げ、男子が関東学生ラクロスリーグ1部昇格、女子は1部リーグ優勝を目指し日々練習に励んでおります。また、顧問に対しても毎月の活動報告資料の提出をはじめ、報告、相談を怠ることなく活動を行っています。更なる飛躍を目指すために練習環境をより良くすることで、かつての成績を追い越すような活動をしたいと考えております。

つきましては、本愛好会の活動をより実りのあるものにするべく体育会昇格をお認め頂きますようお願いいたします。

青山学院大学ラクロス愛好会  
顧問 経営学部助教授 宮崎 純一

今年は私達を含め複数のOB・OGの方々が専属コーチとしてチームの指導にあたり、組織的な指導体制が確立された年でもあります。その結果、男子は当初惨敗も予想された学生リーグ戦において既に2勝を挙げ、この勢いでは全勝でのリーグ通過、上部リーグとの入替戦での勝利も確実視されるところであります。

今年に限らず今後も継続してチームの強化を行うためには、我々チームOB・OGの努力・支援だけでなく、貴校が我がチームを体育会としてご支援していただくことで、チームの指導体制がより強化されるものと考えます。

つきましては我がラクロス愛好会の体育会申請の件、宜しくお取り計らいいただきますようお願い申し上げます。

青山学院大学ラクロス愛好会  
ヘッドコーチ 三國 清志 ('93卒)

私達は主将として常にチームの勝利のため、また我が愛好会が青山学院の名に恥じない活動をするよう全力を注いでいます。今年度男子は関東学生リーグ一部昇格、女子は一部リーグ優勝を目標に日々の練習に励んでいます。しかし、現在の金銭面やグラウンド等の環境面における負担は大きく、練習が制限されてしまうことが否めません。

幸いなことに我がチームも毎年多くの新入生が加わりますます大所帯になっています。上級生の練習はもちろんのこと、下級生育成のためにも広いグラウンドを確保し、全員参加できる環境が長期的なチーム繁栄のためには不可欠です。

青山学院ラクロスの今後の更なる飛躍のためにより良い環境で伸び伸びと、そして質の高い練習ができることを願い、ここに体育会への申請をお願いいたします。

青山学院大学ラクロス愛好会

2003年度主将 内藤 誠 (経営・4)

池村 亜希子 (法・4)

私達副将は練習面、運営面において主将を支えていくという立場からチームに関わっています。特に私達は3年ということもあり、上級生と下級生のコミュニケーションの掛け橋となっていければと考えています。現在、男子は一部昇格、女子は一部リーグ優勝という目標があります。私達はその目標達成のために必要な個々の技術力向上、チーム力の強化を図る練習を日々行っています。そして来年には主将として、男女共に一部という舞台で目標を達成できるようなチーム作りをしていきたいと思っています。そのためにも是非体育会に加盟し、我が大学の誇りを持って活動していきたいとメンバー一同心より望んでおります。何とぞ、ご検討のほどよろしくお願い致します。

2003年度副将 小倉 一敏 (経営・3)

山西 啓代 (法・3)

私達ラクロス愛好会は、創部以来、常に上を目指して活動を続けてまいりました。昨年女子は一部に昇格し、男子は二部残留となり、今年はそれぞれ新たな目標に向かって日々練習に励んでおります。しかし、現状は練習環境が悪く、思うように練習ができていません。使用しているグラウンドは河川敷のため、水はけが悪く、一度雨が降ると数日間グラウンドの使用が禁止されてしまうこともしばしばあります。また、シーズン本番の夏になるとグラウンドの確保さえ難しい状況です。

毎年行っている新入生勧誘では、多くの新入生を入部へとつなげていますが、グラウンドが遠いことや、金銭面の負担が原因で続けることができない人がでてきてしまうのは、非常に悔やまれます。部員の人数はチームの発展に欠かせないものであり、私達はより多くの人にラクロスを続けてもらうべく努力しています。

これらのことが少しでも改善されることを願って、私達はOB・OGとの連携を図りながら毎月の活動報告および愛好会申請を行ってきました。我がチームの発展のために、今の環境を改善し、より密度の濃い活動が出来ることを願い、ここに申請をお願い致します。

2003年度主務 岡部 大輔 (経済・4)

中村 絃子 (英米・4)

2003年度副務 曾我 真基 (国際経済・3)

福山 愛 (法・3)

私達はチームを運営していくために不可欠である財政面の管理をさせて頂いております。別紙年間会計報告にて提示させていただいている通り、毎年合宿費や公共グラウンド使用料等、多大な支出が発生し、現在は全て部員が負担しております。更に、会計報告に記載している以外にも個人の道具等、財政的な負担が非常に多く、苦しい状態です。毎日練習をしつつアルバイトでラクロスにかかる費用を得るという生活を続けるのは体調を崩す一因となりますし、勉強の方に影響が出て困ります。ラクロスをやりたいと思っても財政面で困難になってしまい、そのチャンスを逃してしまうことは非常に悔やまれることだと思えます。

そこで私達と致しましては体育会に加盟させていただき上記に述べた個人負担の軽減化を図り、財政面における活動環境を良くするためにバックアップしていただきたく思っております。今後、我がチームがより円滑に運営・発展していける為にも是非ともよろしくお願い致します。

2003年度会計 堀川 浩祐 (経済・3)

篠崎 彩子 (国際政治・3)

「ラクロスというスポーツをやらないか？2年後にはオーストラリアで WorldCup が開催される。日本代表を目指そう。」

昭和 62 年の入学直後の誘い文句。

「暇」と「体力」を持って余したメンバー約 10 名。ここに青学ラクロス誕生。

そそいだエネルギーは「チームの戦力向上」と「ラクロスの普及」が半々。

「いつか認知される日が来る。OB・OG になっていてもいい、大観衆の中で決勝戦を戦う AGU ラクロスを見たい。」当時の想い。

普及・認知の目標は概ね達成された今日 勝利のみを希求し練習に励む後輩達、土日を返上し技術支援を行う後輩 OB・OG

彼らの熱意に触れ、筆をとりました。

体育会昇格ご検討の程何卒よろしくお願い申し上げます。

青山学院大学ラクロス愛好会

初代主将 温湯 達也 ('91 卒)

田中 美恵 ('91 卒)

私達は前年度青学ラクロス愛好会の主将を務めさせて頂きました。ラクロス愛好会から体育会へ…。その前段階として同好会となるべく、去年一年間、毎月の活動報告、練習試合、公式試合の結果報告を中心に学生課に提出をして参りました。

現在の私達は部員から集める月々の部費から有料グラウンドの費用、救急用具の補充をし、合宿、毎回の試合参加費なども全て個人負担で活動しております。今年卒業し OB・OG の一人となった今、後輩達に少しでも活動しやすい環境でラクロスというスポーツを続けてもらいたいという思いは募るばかりです。

しかし同好会、体育会になるということは、単にリーグ戦の実績だけではなく、マナー、活動内容を含めた上で青山学院という看板を担うことのできる団体でなければいけないと思います。OB・OG が結束して後援会という組織が軌道に乗り始めた今、学生のためのできることを提案し続け、最大限にバックアップをしていきたいと考えております。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

青山学院大学ラクロス愛好会

前年度主将 高橋 直人 ('03 卒)

行方 瑠奈 ('03 卒)

私達青山学院大学ラグロス後援会は、2002年10月「現役生がより良い環境でラグロスに打ち込み、楽しみ、私達が現役生と卒業生の仲介役となることで、様々な活動のサポートをしていく」ことを目的に設立されました。たとえば、大学側に対する愛好会申請ならびに活動報告のチェック、リーグ戦を中心に試合応援連絡の取りまとめ、現役生からの卒業生コーチ要請に対する仲介、また金銭援助等を行っております。これらのことは、私達も現役時代に非常に苦勞した点であり、今後徐々に卒業生が増えることを考え、中長期的に見てこのようなパイプ的役割の仲介組織が必要であろうと考えました。

今後も「継続的な発展」をキーワードに、現役卒業生共々一体となって青山学院大学ラグロス愛好会は活動していく所存です。

体育会昇格に関し何卒ご検討のほど宜しくお願い致します。

青山学院大学ラグロス後援会

代表	加藤 雅之	(’01 卒)
副代表	藤澤 桂	(’00 卒)
	青木 恵一	(’01 卒)
	田村 亜矢子	(’01 卒)
	高橋 直人	(’03 卒)
	狩野 葉子	(’03 卒)



1988 年度第 1 回関東学生リーグ戦 青山学院大学ラクロス愛好会(女子)戦績

《結果》女子1部リーグ2位

《星取表》

	東女体	青山学院
東女体		○3-2
青山学院	●3-2	

## 5-1. 2002年度 男子会計決算書

自 2002年 4月 1日

至 2003年 3月 31日

収入		支出	
前年度繰越金	5,204	合宿費	2,015,450
合宿費	2,015,450	フレッシュマンキャンプ費用	990,000
フレッシュマンキャンプ費用	990,000	ラグロス協会選手登録費	809,000
ラグロス協会選手登録費	809,000	ラグロスフェスタ参加費用	805,050
ラグロスフェスタ参加費用	804,600	ルネサンスオープン費用	693,000
ルネサンスオープン費用	693,000	ラグロス協会選手登録更新費	469,000
部費	476,900	新勸費	241,769
ラグロス協会選手登録更新費	469,000	備品(※)	81,246
リーグ戦参加費	73,000	グラウンド代	78,000
リーグ戦開幕戦チケット代	64,000	リーグ戦参加費	73,000
ファイナル4チケット代	64,000	リーグ戦開幕戦チケット代	64,000
全日チケット代	64,000	ファイナル4チケット代	64,000
ゴール代	49,000	全日チケット代	64,000
リーグ戦パンフレット代	32,000	救急関連費	54,885
国際親善試合チケット代	32,000	ゴール代	49,000
愛好会活動援助金	25,000	国際親善試合チケット代	32,000
審判試験受験費用	22,000	リーグ戦パンフレット代	32,000
集客試合カンパ代	17,630	追い出しコンパ費用	27,100
雑収入	14,606	審判試験受験費用	22,000
		集客試合パンフレット制作費	12,864
		リーグ戦参加費不足分	12,000
		来年度繰越金	31,026
計	6,720,390	計	6,720,390

(※) 備品・・・ビデオ修理代、ビデオテープ代、ボール代など

## 5-2. 青山学院大学ラグロス後援会 OB会費報告書

前年度繰越金: ¥113560 (OB会時の寄付も含む)

日付	名目	収入	支出	合計(残金)	詳細(備考)
1/1	前年度繰越金			113,560	
1/10	OB会費3口(3期東海林伸夫氏)	15,000		128,560	
1/14	OB会費2口(3期稲田凱輝氏)	10,000		138,560	
1/14	OB会費2口(3期大須賀陸郎氏)	10,000		148,560	
1/15	OB会費2口(3期瀬在浩貴氏)	10,000		158,560	
1/20	OB会費2口(4期三井太郎氏)	10,000		168,560	
1/28	OB会費1口(5期三浦利彦氏)	5,000		173,560	
2/4	OB会費2口(2期塚田耕一郎氏)	10,000		183,560	
2/7	OB会費1口(12期小宮陽之助氏)	5,000		188,560	
2/15	SHQ講習代		104,880	83,680	SHQ=クレーマー(株)主催 TR方法に関しての講習会(交通費含む)2002年度に参加
3/4	OB会費2口(2期亀山晃利氏)	10,000		93,680	
3/11	OB会費1口(12期江幡重良氏)	5,000		98,680	
4/11	OB会費1口(11期加藤雅之氏)	5,000		103,680	
4/18	ゴール裏防護ネット(青木・加藤)		19,887	83,793	作成中(要修理の為)
4/21	OB会費2口(3期嶋村康氏)	10,000		93,793	
6/10	ゴール代		31,290	62,503	
6/10	ラダー・ホワイトボード代		17,405	45,098	三国さん発注済
計		105,000	173,462		

### 12/14 総会時にOB会費を寄付してくれた方 (有難うございました)

1期	竹村 耕 氏	2口	10,000
3期	三国 清志 氏	2口	10,000
8期	長島 健仁 氏	2口	10,000
11期	青木 恵一 氏	2口	10,000
11期	猿田 和之 氏	1口	5,000
12期	足立 吉生 氏	1口	5,000
12期	是永 吉男 氏	1口	5,000
	計		55,000

\* SHQに関しましては、現役の方よりレポートを出してもらおう予定でいます(今後どのように練習に役立てていくか・TRの内容)

### 今後の支出予定

- ① ゴールの枠、ネット
- ② 新入生勧誘のサポート

2003年6月10日現在

## 5-2. 青山学院大学ラグロス後援会 OG会費報告書

前年度繰越金: ¥24,335(総会時の寄付も含む)

日付	名目	収入	支出	合計(残金)
1/1	前年度繰越金(1期 山下由香さん ¥10,000含む)			24,335
1/27	OG会費2口(3期 神谷弘子さん)	6,000		30,335
5/13	OG会費2口(11期 木村亜沙子さん)	6,000		36,335
5/20	OG会費1口(9期 小飯塚千恵さん)	3,000		39,335
5/26	OG会費1口(9期 崎本奈穂さん)	3,000		42,335
5/28	OG会費1口(4期 服部玲奈さん)	3,000		45,335
6/2	OG会費1口(12期 川又わかなさん)	3,000		48,335
6/3	OG会費1口(9期 倉下佳子さん)	3,000		51,335
6/4	OG会費1口(4期 中田さやかさん)	3,000		54,335
6/5	OG会費1口(9期 西原真紀さん)	3,000		57,335
6/5	OG会費1口(9期 後藤くりさん)	3,000		60,335
7/7	OG会費1口(13期 青木里紗さん)	3,000		63,335
7/7	OG会費1口(13期 長谷部玲香さん)	3,000		66,335
7/7	OG会費1口(13期 狩野葉子さん)	3,000		69,335
7/8	OG会費1口(13期 湯浅正美さん)	3,000		72,335
7/9	OG会費1口(13期 持田麻衣子さん)	3,000		75,335
7/15	OG会費1口	3,000		78,335
7/18	OG会費1口(13期 行方瑠奈さん)	3,000		81,335
7/23	OG会費1口(13期 あざみ陽子さん)	3,000		84,335
7/24	OG会費3口(10期 藤沢桂さん)	9,000		93,335
8/12	OG会費3口(11期 田村亜矢子)	9,000		102,335

8月末現在 残金 ¥102,335

## 6-1. ラクロスの現状と概略

(H13年2月23日現在)

### 1. ラクロスとは

サッカーとほぼ同じフィールドサイズで、棒の先に網のついたスティックを使う。テニスボール大の硬質ゴム製のボールを運び、1.83m 四方のゴールに得点を競う団体競技。男女でルールが異なる。

男子：上半身にヘルメット、ショルダーパッド、グローブなど防具を装着、ゴールキーパーを含め10人対10人、20分×4クォーター制で行われる。

魅力：

- ◆ 時速 130km を超す強烈なシュート
- ◆ パワー・スピードを活かした華麗な個人技と、緻密なフォーメンションプレー
- ◆ 小さなボールをめぐる、体と体、スティックとスティックの激突

女子：ゴールキーパー以外は防具をつけず、ポロシャツにミニスカートのユニフォームで12人対12人、25分×前後半制で行われる。

魅力：

- ◆ 12人のチームワークによるオフェンスとディフェンスの激しい攻防
- ◆ おしゃれなユニフォームと激しいプレーのギャップ
- ◆ 誰でも気軽に始めることができる

### 2. ラクロスの歴史

17世紀、北米インディアンがスピリチュアルな儀式として行っていた同スポーツの原型を移民が発見。先住民との交流を目的に、ルールを定め、スポーツ化した。

ここ100年近くアメリカ、カナダ、イングランド、オーストラリアのみで行われていたが、現在アメリカ・カナダを中心にオーストラリア・英国全土・チェコ・ドイツ・アルゼンチン・韓国など、日本を含め14カ国が国際連盟（男子ILF、女子IFWLA）に加盟し、世界的競技人口は約60万人になる。

### 3. ラクロスの近況

90年代に入り、日本での普及がきっかけで世界的に人口増加中。米国NCAAでは、アメリカンフットボール、バスケットの次に人気（野球と同等）。95年からヨーロッパ選手権が開催される。現在、日米共同でアジア諸国への普及を計画、中国、韓国で成功している。香港、ベトナム、インドネシア、マレーシア、ブルネイも積極的な姿勢を見せている。

#### 4. 日本のラクロス

1986年に、駐日米国大使館の協力で慶應義塾大学に男子チームが結成され、87年「国際交流」をテーマに日本ラクロス協会を設立、関東及び京阪神の大学生を中心に、口コミでありながら爆発的に広がり、現在全国で加盟約360チーム、競技人口（協会登録）男子約5500人、女子約12500人、合計1万8千人になり、近年は女子中高生にも愛好者は増えている。

特徴：

- ◆国際的な雰囲気
- ◆他フィールド団体競技に比べ、入り込みやすいイメージ
- ◆90年より東京・江戸川区と提携、アジア・ラクロスの中心地へ
- ◆96、97年、2年連続でW杯の日本招待に成功
- ◆他スポーツ団体との提携及び連動
- ◆献血推進キャンペーン（献血を通し、社会貢献を実践する。2000年3月には、全国で約2000人の選手が参加）

大会：

- ◆全国または各地域オープン戦（3月中旬～7月上旬）
- ◆国際親善試合（国際大会/国内及び中国、韓国で開催/6月）
- ◆各地域リーグ戦（学生、社会人/メインシーズン/8月中旬～11月下旬）
- ◆全日本選手権（12月）
- ◆その他、各種定期交流試合、春・夏高校選手権（女子）など

#### 5. 今後の広がり

国外：

- ◆2020年オリンピック正式種目参加が目標
- ◆2004年に中国、香港、韓国、日本のアジア諸国に、カナダ、アメリカ、オーストラリアを加えて、パンパシフィック大会開催を予定

国内：

男子：「観るスポーツ（集客）」を目指し、地道に選手を強化

- ：2010年までに全国年間有料入場者延べ20万人
- ：W杯での日本代表メダル獲得（3位入賞）目標は2010年大会

女子：中高生を中心に全国規模の普及を予定

- ：2006年に競技人口6万人を予定
- ：W杯での日本代表メダル獲得（3位入賞）

2003年に開催された、IFL/IFWLA19歳以下世界大会では、19歳以下の女子・男子日本代表が共に5位という輝かしい成績を残した。

エリア  
北海道

学生

女子  
北海学園大学  
北星学園大学  
札幌国際大学  
藤女子大学  
北海道大学  
札幌学院大学  
札幌大学  
北海道教育大学岩見沢分校  
北海道浅井学園大学  
酪農学園大学

男子  
北海学園大学  
北星学園大学  
札幌国際大学  
北海道大学  
札幌学院大学  
札幌大学  
北海道教育大学岩見沢分校  
酪農学園大学

クラブ

WHOOB  
AMISTAD

シャクシャインズ

東北

学生

岩手大学  
郡山女子大学  
日本大学(郡山)  
東北大学  
東北福祉大学  
東北学院大学  
宮城学院女子大学  
宮城教育大学  
宮城大学  
国際医療福祉大学  
新潟大学  
福島大学

岩手大学  
日本大学(郡山)  
東北大学  
東北学院大学  
新潟大学  
福島大学

クラブ

COUGARS

仙台ラクロスクラブ  
あかべこクラブ

関東

学生

青山学院大学  
跡見学園女子大学  
跡見学園女子短期大学  
桜美林大学  
大妻女子大学  
学習院大学  
神奈川大学  
カリタス短期大学  
川村学園女子大学  
川村短期大学  
神田外語大学  
共立女子大学  
慶應義塾大学  
恵泉女学園大学  
國學院大學  
国士舘大学  
国際基督教大学  
駒沢大学  
駒沢女子大学  
淑徳大学  
上智大学

青山学院大学  
桜美林大学  
学習院大学  
神奈川大学  
関東学院大学  
慶應義塾大学  
國學院大學  
国士舘大学  
駒沢大学  
淑徳大学  
上智大学  
駿河台大学  
聖学院大学  
成蹊大学  
成城大学  
専修大学  
大東文化大学  
玉川大学  
千葉大学  
中央大学  
帝京大学

白百合女子大学  
城西国際大学  
聖心女子大学  
聖学院大学  
成蹊大学  
成城大学  
聖徳大学  
専修大学  
創価大学  
大東文化大学  
玉川大学  
千葉大学  
中央大学  
鶴見大学  
帝京大学  
東海大学  
東京外国語大学  
東京家政学院大学  
東京家政大学  
東京大学  
東京女子大学  
東京女子体育大学  
東京理科大学  
東京学芸大学  
東洋英和女学院大学  
東洋大学  
日本大学  
日本女子大学  
日本女子体育大学  
日本体育大学  
二松学舎大学  
一橋大学  
フェリス女学院大学  
文教大学  
文京学院大学  
法政大学  
武蔵大学  
明海大学  
明治大学  
明治学院大学  
明星大学  
横浜国立大学  
立教大学  
立教女学院短期大学  
早稲田大学  
獨協大学  
埼玉大学  
亜細亜大学  
目白大学  
東京農業大学  
筑波大学  
茨城大学

東海大学  
東京大学  
東京経済大学  
東京理科大学  
東京学芸大学  
東洋大学  
日本大学  
日本体育大学  
二松学舎大学  
一橋大学  
法政大学  
武蔵大学  
明海大学  
明治大学  
明治学院大学  
明星大学  
横浜国立大学  
立教大学  
早稲田大学  
獨協大学  
東京農業大学  
筑波大学  
茨城大学



WISTERIA  
MISTRAL  
URCHINS  
THREE CHEERS!  
CHEROKEE  
B.B.B.  
MIKADO  
FBI  
GROOVERS  
ss☆gat  
PRIME  
TRUNDLE  
CHEL  
VEUZZ  
Sibylla  
RADISH

東京ラクロスクラブ  
東日本ラクロスクラブ  
TALACO  
BIGRED  
SILVERBACKS  
VALENTIA  
UNITED  
EMU  
ガマ・オイラーズ  
東京JUNIOR  
DESAFIO  
bambino  
DRY Lacrosse  
MY WOO  
HITOTSUBASHI AURORA  
TOKYO-JUNIOR

高校

慶応義塾高等学校

東海

学生

愛知大学  
愛知学院大学  
愛知淑徳大学  
愛知淑徳短期大学  
愛知学泉大学  
愛知教育大学  
金城学院大学  
信州大学  
椋山女学園大学  
中京大学  
名古屋大学  
南山大学  
日本福祉大学  
名城大学  
中部大学  
名古屋学院大学  
中京女子大学  
滋賀大学  
名古屋外国語大学  
岐阜大学

愛知大学  
愛知学院大学  
愛知淑徳大学  
愛知教育大学  
信州大学  
中京大学  
名古屋大学  
名古屋商科大学  
南山大学  
日本福祉大学  
名城大学  
中部大学  
滋賀大学  
岐阜大学

クラブ

名古屋ラクロスクラブ  
EPOCH

中東ラクロスクラブ

関西

学生

大阪大学  
大阪外国語大学  
大阪学院大学  
大阪教育大学  
大阪経済大学  
大阪芸術大学  
大阪産業大学  
大阪市立大学  
大阪樟蔭女子大学

大阪大学  
大阪学院大学  
大阪経済大学  
大阪国際大学  
大阪産業大学  
大阪市立大学  
大手前大学  
追手門学院大学  
関西大学

大谷大学	関西外国語大学
大谷女子大学	関西学院大学
大手前女子大学	京都大学
追手門学院大学	京都工芸繊維大学
関西大学	京都産業大学
関西外国語大学	近畿大学
関西学院大学	甲南大学
京都大学	神戸大学
京都工芸繊維大学	神戸学院大学
京都産業大学	帝塚山大学
京都女子大学	同志社大学
京都精華大学	奈良産業大学
京都橘女子大学	佛教大学
近畿大学	桃山学院大学
甲南大学	立命館大学
甲南女子大学	龍谷大学
神戸大学	流通科学大学
神戸海星女子学院大学	関西福祉大学
神戸学院大学	
神戸市外国語大学	
神戸松蔭女子学院大学	
神戸親和女子大学	
神戸女学院大学	
神戸女子大学	
神戸薬科大学	
聖和大学	
園田学園女子大学	
帝塚山大学	
帝塚山学院大学	
同志社大学	
同志社女子大学	
奈良女子大学	
京都ノートルダム女子大学	
梅花女子大学	
佛教大学	
武庫川女子大学	
桃山学院大学	
立命館大学	
龍谷大学	
流通科学大学	
大阪国際大学	
関西福祉大学	
京都府立医大医療技術短期大学部	
関西女子短期大学	

クラブ

神戸ラクロスクラブ	ナニワラクロスクラブ
KITE LACROSSE	HELP
JUNK	KOBE WILDBOARDS
FORZA ラクロスクラブ	大阪ラクロスクラブ
extrana	KGモルツ
SCHERZO	左大文字ラクロスクラブ
CYAN	SOLT
	ボンセ上方
	関西ラクロスクラブ

GOLD ZEALER

中国

学生

岡山大学  
川崎医療福祉大学  
島根大学  
安田女子大学  
広島大学  
広島修道大学  
広島女学院大学  
山口大学  
広島比治山大学

岡山大学  
川崎医療福祉大学  
島根大学  
広島大学  
広島修道大学  
山口大学

クラブ

CURIOUS

BARBARIAN LIGHTS

四国

学生

愛媛大学  
香川大学  
聖カタリナ女子大学  
徳島大学  
松山東雲女子大学

愛媛大学  
徳島大学

クラブ

愛媛ラクロスクラブ  
瀬戸MIX  
高知ラクロスクラブ  
arrows

九州

学生

九州大学  
北九州市立大学  
西南学院大学  
第一経済大学  
筑紫女学園大学  
福岡大学  
九州産業大学  
九州女子大学  
中村学園大学  
福岡教育大学  
久留米大学

九州大学  
北九州市立大学  
西南学院大学  
第一経済大学  
福岡工業大学  
福岡大学  
九州産業大学  
福岡教育大学  
久留米大学

クラブ

F.EMPRESS  
Peace Makers  
BREBIS

H.Jero  
ラクロスリパブリック

(H15年6月30日現在)  
2003年度チームコード順

## 6-3. ラクロスルール説明

(H15年9月1日現在)

### <男子編>

#### ゲーム

ゲームは20分×4クォーターで行われ、ボールを運び、相手ゴールに入れて得点すること、また相手チームがボールを確保し、得点するのを阻止することがチームの目的となる。各クォーターの初めと、得点後にはフィールド中央に置かれたボールを取り合うフェイスオフで始められる。

フィールドでプレーをするのは、

- ・ アタック (AT) …3人

オフENSEをコントロールするオフENSEの専門家。

- ・ ミッドフィールダー (MF) …3人

攻守ともにこなし、フィールドを縦横無尽に走り回り、ゲームをコントロールする。

- ・ ディフェンス (DF) …3人

相手のオフENSEをホールド（押し出す）したり、チェック（叩く）したりして、ゴールから遠ざける。ディフェンスの専門家。

- ・ ゴーリー (G) …1人

ゴールを死守すると共に、ディフェンスを統括する守りの要。

この中で、ミッドフィールダーは体力的負担が大きいため、フライ（交代）を頻繁に行う。フライをするときは、主に3~4人のセットで、それぞれ1stセット、2ndセット、3rdセットといったような形でフライが行われる。

#### 用語解説

- ・ クリア…ディフェンスがボールを奪い、そのボールを敵陣まで運ぶこと。
- ・ ライド…敵チームのクリアをとめるためにディフェンスすること。
- ・ リードパス…走っている選手にパスをするときに、その選手の前方にパスを出すこと。
- ・ ファーストブレイク（ブレイク）…速攻のこと。
- ・ ターンオーバー…オフENSE状態からディフェンスに切り替わること。通常ターンオーバーは少ない方が体力を消耗せず、安定した試合運びができる。
- ・ ミート…自分のマークマンを引き離して味方からのパスをもらいに行くこと。
- ・ 1ON1…オフENSEとディフェンスの1対1のこと。
- ・ スライド…ラクロスでは主にマンツーマン・ディフェンスを敷くことが多いが、1ON1において、ディフェンスが抜かれてしまった場合にオフENSEを止めるためにもう一人

のディフェンスが止めに行くこと。

- ・ フィード…シュートを打つ選手にパスを出すこと。
- ・ チェイス…シュートがゴールの枠を外れ、サイドラインやエンドラインを越えたとき、その時点でボールの近い選手側にボールが与えられる。よって、オフenseはこのチェイスを取ることで、オフenseを続けていくことができる。
- ・ グラウンドボール…ラクロスではボールが地面に転がったときにそのボールを拾うが、その時にボールを取りに行く選手と、それを援護すべく敵の選手に当たりに行く選手とに分かれる。
- ・ マン…この当たりに行く行為のことをマンという。
- ・ ピック…ボールを持っていないオフenseの選手がボールを持っているオフenseのマークマンに静止した状態でスクリーンに入ること。
- ・ ファウル…ファウルにはテクニカルファウルとパーソナルファウルの2種類がある。特にパーソナルファウルを犯したプレーヤーはそのファウルの重度により、1分から3分退場させられ、その間は1人少ない状態で戦うことになる。この状態のことをエキストラマン・ディフェンス（マンダウン）という。また、このときの攻撃側をエキストラマン・オフense（マンアップ）という。

#### その他ラクロスで登場する独特な言いまわし

- ・ ボールマン…ボールを持っている選手、またはその選手をマークするディフェンス。
- ・ クリース（ゴールを中心に描かれた円のこと）付近のマークマン…ゴール前のマークマンのこと。ゴールにごく近いため、ここのマークマンをあけると得点されやすい。
- ・ 首振り…主にディフェンスにおいて、ボールを持っている選手と、自分のマークマンを交互に見ること。良いディフェンスをするためには頻繁な首振りが必要となる。
- ・ ターゲット…ボールをもらうときの構え。
- ・ グラウンドボールの寄り…ボールが転がっているところへ集まること。より早く多くの人数が集まることで数的優位を作り拾いやすくする。
- ・ 球離れ…主にオフenseにおいて展開を早くしてディフェンスを崩すため、オフenseプレーヤー一人一人がボールを持つ時間を少なくしていくこと。

## <女子編>

### 女子ラクロスとは

女子ラクロスはフィールドを12人のプレーヤーが自由に駆け回り、ボールをゴールまで運んで点を競い合います。公式の試合時間は前半25分、後半25分（25分ハーフ）。間に10分のハーフタイムがあります。

フィールドのサイズはサッカー場とほぼ同じ大きさ。ゴールラインからもう一方のゴールラインまで92m。ゴール裏は9m。センターサークルは半径9m。ゴールサークルは半径3m。ゴール前に11mライン（フリーシュートのスタートライン）と、15mラインがある。

### ゲーム展開

1. ドロー（DRAW）でゲーム開始。ドローの際には、センターサークルの中心に2人が立ち、クロスの裏面にボールを挟んで主審の笛でボールを味方に有利なように投げ上げるのが基本。
2. ゲームが開始したら、アタック、ディフェンスというポジションで展開される。
3. シュートがゴールに入ると1得点となる。そして、またドローからゲームが再開される。

### 主なファウル

ブロッキング…ディフェンダーは、足やクロスを肩幅以上に広げてアタックの進行を妨げてはならない。もし身体が接触した場合はメジャーファウルとなる。また、アタックの後方からクロスを相手の前に回して、前方を遮ったり、チェックすること。

チャージング…アタックがディフェンダーが先に位置しているところに自ら突進し、接触すること。肘などを使って相手を押すこと。

プッシング…故意にまたはその他の理由で相手を押すこと。

スラッシング…選手が危険または抑制されていない方法で、クロスを振り下ろしたり、ボールを進めたりすること。

フリースペース・トゥ・ゴールの侵害…ボールを持ったアタックが15mラインよりも内側に入ってきた場合、その選手を頂点とし、ゴールサークルとの接線によりできた三角形をフリースペース・トゥ・ゴール（FSG）という。このFSGを妨害することによって、アタックの安全なシュートを困難にし、無防備な（ゴーマー以外の選手全て）ディフェンダーにシュートを打ってしまう状況に陥らせてしまうこと。このディフェンダーの配置は、自らの行動によって適用され、アタックによってFSGに引き込まれた場合は、この限りではない。

ペナルティー…反則があった場合、反則を犯したものが相手から4m離れる。2人同時に反則を犯した場合はスローと言って、審判が投げたボールを2人で取り合う。ゴール付近でディフェンスによる危険なファウルが犯された場合、アタックはフリーシュートの権利が与えられる。